

枯れ葉とわたし

松野弘子

ころんだよ

田舎のJR駅の前

スッテントンと

ころんだよ

ほんの小さなデコボコに

つま先引っかけ

ころんだよ

あわてて辺りを見まわすと

JR列車は出たばかり  
人影ひとつ なかったよ

ころんだ手の甲のすぐ先を  
枯れ葉がくるくる  
舞っている

手の甲のしみも落ち葉いろ  
今年も終わりの枯れ葉いろ

カラ／＼／＼と鳴る音は  
空<sup>カラ</sup> 空<sup>カラ</sup>ときこえるよ

高く深い空の下  
住みなれた街から引越して

ステーションと

ころんだよ

これで三度目

ころんだよ